

大山町を変える5本柱

税金のムダづかいをやめる

町民の大切な税金です。費用対効果の検証などにより、ムダをなくします。ふるさと納税の強化などにより、自主財源を増やす取り組みをします。

教育・子育て環境の充実

子育て世代の負担を軽減し、子育てしやすいまちづくりをします。保育料無償化や高校生の通学費助成など、働く現役世代が地域に残る取り組みを強化します。

農林水産商工業を強化

後継者不足の解消に取り組みます。有害鳥獣の駆除強化と特産品化を進めるなど、地域特性をいかした農林水産商工業の振興につとめます。

住みやすさ向上

大山開山1300年祭の成功に向け、波及効果が町全体で感じられるように取り組みます。公共交通の見直しや、買物弱者の利便性向上など、誰もが暮らしやすいまちにします。

魅力ある雇用の創出

起業支援や成長産業の誘致など、雇用の創出に取り組みます。大山の自然をいかしたスポーツツーリズムの拡大と産業化を推進します。



ながります。人口の増加にともなって税収が上がれば、医療や福祉に関するサービスなど、高齢者の方に使えるお金も増えます。そして、医療機関や福祉施設、お店の減少などの、町民全体が抱える不安を解消することも可能です。

何事にもスピード感を持って対処し、子や孫の世代が住み続けられる大山町をつくるのが私の使命だと考えています。ふるさと大山町の発展に尽くし、誰もが住みやすいまちづくりをしたいという初心を忘れず、全力で取り組みます。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。